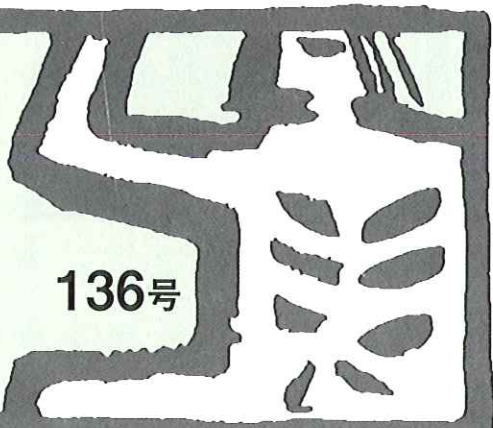


# ピース・ウイング長崎 会報

# へいわ

136号



■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 「市民のつどい」開催報告
- 「上條 恒彦氏・加賀美 幸子氏 朗読会」のお知らせ
- 「長崎国際平和映画フォーラム2012」開催報告
- 「外国人と市民の集い」開催報告
- 東北地方での被爆体験講話実施報告
- TOPICS! (朝長副理事長 長崎新聞文化章受章、被爆者健康講話のお知らせ ほか)
- 核兵器廃絶長崎連絡協議会が発足
- 書籍・グッズ紹介
- 「外国人弁論大会」開催報告
- 「市民対象碑めぐり」開催報告



「市民のつどい」にて風船に平和のメッセージを書き込む子供たち (2ページに関連記事)



国連軍縮週間

「市民のつどい」を開催しました

10月27日、当協会の恒例行事である「市民のつどい」が原爆資料館前階段下広場を中心に開催されました。雨が降るあいにくの天気でしたが、主催の「平和大行進」に参加された市民をはじめ、原爆資料館や追悼平和祈念館を訪れた観光客の皆さまに、楽しみながら平和・軍縮について考えていただく良い機会になったと思います。

階の円形パビリオンで開催しました。多くの入館者が足を止め、展示された写真と写真資料調査部会員の説明に聴き入っていました。



戦時食コーナー



戦時中の食糧事情を体験してもらうため、長崎県地域婦人団体連絡協議会と活水高校の皆さまの協力により、戦時中と同じ材料を使った「すいとん」「ふかし芋」「野草の天ぷら」などを来場者に提供しました。

エコ風船コーナー



太陽光に当たると、水や炭酸ガスなどに分解される風船に、来場者は思いのメッセージを書き込み空に放したり、持ち帰ったりしていました。コーナーを担当した継承部会員と訪れた小学生らが楽しそうに会話をする様子も印象的でした。

ミニコンサート

音楽部会員等による「青い空」や



「原爆許すまじ」などの演奏と歌声で会場は和やかな雰囲気包まれ、一緒に口ずさむ来場者の姿も見られました。

折り鶴コーナー



国際交流部会が担当した折り鶴コーナーには、子供から大人、外国人観光客の姿もあり、平和の願いを込めて丁寧な折り鶴を折っていました。集まった折り鶴は、千羽鶴にして核保有国へ送られます。

綿菓子・ポップコーンコーナー



子供たちに大人気だった綿菓子・ポップコーンコーナー。市民大行進を終え、お腹を空かせた子供たちの行列は途切れることがありませんでした。

核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCJNC) が発足

＝当協会もメンバーに＝

四月に開設された長崎大学核兵器廃絶研究センター(PCJNC)をシンクタンクに、広く連携・協力して長崎の悲願である核兵器廃絶の実現に寄与することを目的とした「核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCJNC)」が、10月4日に発足しました。協議会は、長崎県、長崎市、長崎大学、追悼平和祈念館及び当協会の13人の委員から構成されており、当協会関係では、追悼平和祈念館長と事務局長が参加しています。

協議会の主な事業としては、専門家による市民向けの講演会等の実施や情報発信、次世代を担う人材育成、平和・軍縮研究機関等のネットワーク構築の支援などが挙げられています。

早速、次の市民講座が開催されます。事前申込不要・無料ですので、ぜひご参加ください。

◇市民講座

1月24日(木)「国際社会と紛争」  
2月7日(木)「世界のNGO・市民は何に注目しているか」  
3月7日(木)「被爆体験を若い世代に継承するには」  
時間18:00～20:00 追悼平和祈念館交流ラウンジにて。

くわしくは、同協議会事務局  
(Tel095-819-2252)へ

原爆被爆写真展

写真展は、雨のため資料館地下2



# 上 條 恒彦氏 朗読会 加賀美 幸子氏

平和朗読 ～明日、あなたが語るナガサキ～



上條 恒彦氏

追悼平和祈念館「原爆詩シアター」の朗読を行っている、歌手で俳優の上條恒彦氏とアナウンサーの加賀美幸子氏をお迎えし、原爆・平和に関する朗読と、長崎やご自身の半生についてお話をうかがいます。  
皆さま、奮ってご応募ください。



加賀美 幸子氏

と き：平成25年3月16日(土) 14時～15時30分 (13時30分開場)

と ころ：長崎市平和会館ホール (長崎市平野町7-8)

入 場 料：無料 (別途郵便ハガキによる応募が必要です。)

応募方法：「郵便番号」「住所」「氏名」「電話番号」および当協会会員の方は「会員」とご記入のうえ、下記の宛先まで郵便ハガキでお申込みください。

〒852-8117 長崎市平野町7-8

(公財)長崎平和推進協会「朗読会係」宛

※ハガキ1枚につき1名様のお申し込みとなります。

(協会会員の方に限り1枚で2名様応募できます。2名入場をご希望の方は「2名」とお書きください。)

応募締切：平成25年2月15日(金) 消印有効 ※応募者多数の場合は会員優先のうえ、抽選となります。

## 書籍・グッズの紹介

原爆資料館の書籍販売コーナーで、注目の書籍やグッズなどを紹介します。ぜひお買い求めください(価格は税込です)。

## 新刊



さよならアトミック・ドラゴン  
西岡由香 著 945円



マンガで読むナガサキ2  
ニア・メモロ 著 1,050円



松尾あつゆき日記  
平田周 編著 1,470円

原爆の惨状を衝撃的な句に残した、長崎を代表する俳人・松尾あつゆき。絶望的な日々を生きた俳人の日記です。

原子・原爆の仕組みや、被爆者の体験談を漫画化した2冊。大人から子供まで、わかりやすく原爆や被爆体験について学ぶことができます。

## 注目商品



長崎-そのときの被爆少女  
横手一彦 編著 1,680円

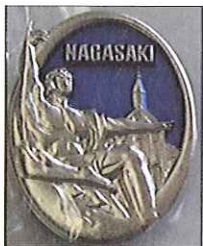
学徒動員中に被爆した石田雅子さん。当時14歳だった少女の体験記「雅子艶れず」に、散逸したと思われる草稿など貴重な資料を加えた復刊版です。



福島原発事故  
柴田義貞 編集 1,260円

福島県立医科大学の副学長・山下俊一氏ら専門家による座談会での提言と、食品汚染のレポートを掲載した一冊です。

## オリジナルグッズ



平和祈念像マグネット 500円



ハトピンバッジ 450円

「nagasaki」と刻印された金色の鳩のピンバッジと、平和祈念像がデザインされた真ちゅう製のマグネットです。来館記念やお土産に最適な新商品です!



# 「映画フォーラム2012」を開催!

「映画フォーラム2012」が開催されました。

この話題の映画11作品の上映とともに、被爆体験記朗読会やピースネットなど盛りだくさんの企画を行います。

**11月3日**

## ◆原爆資料館ホール

稲塚秀孝監督の「フクシマ2011～被曝に晒された人々の記録」や瀬戸あや監督の「祝の島」など3作品が上映されました。会場には、稲塚監督と瀬戸監督も駆け付け、上映後に舞台挨拶を行い、これらの映画の製作の動機や目的についてのお話がありました。



稲塚監督(左)と瀬戸監督による舞台挨拶

## ◆祈念館交流ラウンジ

27日に引き続き、被爆体験記朗読ボランティア育成講座の受講生による「被爆体験記朗読会」が開催されました。朗読の間には長崎市役所二胡愛好会の皆さんによる二胡の演奏が行われ、雰囲気をもたせていただきました。

その後、廣瀬方人さんによる被爆体験講話が行われ、廣瀬さんが取り組んでいる福島の高校生との交流の様子についても語っていただきました。

**11月4日**

## ◆原爆資料館ホール

いよいよ最終日を迎え、「TOMORROW 明日」の再上映と「みえない雲」の上映に加え、今回の映画フォーラムの目玉の一つである「紺野美沙子さん朗読会&トーク」が行われました。

朗読では、「かよこ桜」をバイオリンの調べとともに感情豊かに読み上げられ、来場者の涙を誘っていました。一方、トークでは、司会者との掛け合いも見事で、会場は一気に明るい雰囲気となりました。



朗読する紺野美沙子さん

## ◆祈念館交流ラウンジ

「瀬戸あや監督とのトークセッション」が行われ、自身が映画監督になった経緯など前日の舞台挨拶では聞けなかった話題について、会場からの質問などを踏まえてトークがなされました。

その後、福島県南相馬市と祈念館をピースネット(インターネット会議システム)で結び、長崎側は活水高校、南相馬側は原町高校の生徒同士で朗読や意見交換を行いました。

長崎側の会場には被爆者もみえられ、放射線被曝に対して不安を抱える原町高校の生徒さんに対して「私たちはフクシマを忘れない、寄り添っていく」とのエールを送っていました。



ピースネットの様子



# 「長崎国際平和映画フ

10月27日・28日、11月3日・4日の4日間にわたり追悼平和祈念館主催の「長崎国際平和映画フォーラム」は、原爆資料館ホールと追悼平和祈念館交流ラウンジを会場とし、国内外のプログラムが行われ、4日間合計で約2,000の方が来場しました。フォーラムの様子を報

## 10月27日

### ◆原爆資料館ホール

智多祈念館長の挨拶で映画フォーラムはスタートしました。黒木和雄監督の「TOMORROW 明日」を手始めに、「はだしのゲン」「花はどこへ行った」の3作品が上映されました。

### ◆祈念館交流ラウンジ

新聞各社による記事・写真パネル展「被爆地長崎をどう伝えてきたのか？」が開催されるとともに、在米被爆者証言ビデオの放映が行われました。

また、祈念館が今年度から行っている被爆体験記朗読ボランティア育成講座の受講生による「被爆体験記朗読会」が開催されました。受講生にとって初めての朗読発表で皆さん最初は緊張されているようでしたが、来場者からは「真剣さが伝わり良かった」との感想が寄せられるなど大変好評でした。



被爆体験記朗読会の様子

## 10月28日

### ◆原爆資料館ホール

海外の作品「チャイナ・シンドローム」や、長崎がロケ地となった石原裕次郎、吉永小百合出演の「若い人」など4作品が上映されました。

### ◆祈念館交流ラウンジ

地元テレビ局(NBC・NCC)がそれぞれ制作した原爆関連ドキュメンタリーの英語字幕版が放映されました。なお、これらの英語字幕版の製作にあたっては、祈念館が英訳作業について全面的に協力を行いました。

その後、新聞記者によるシンポジウム「被爆地長崎をどのように伝えてゆくのか？」が開催され、パネリストとして参加した新聞記者からは被爆継承におけるメディアの役割や担当記者としての日ごろの思い、苦勞などについて発言がありました。



新聞記者によるシンポジウムの様子

「今後どのように被爆の継承を行っていくのか」という大きな課題の中で3年前にスタートさせたこの映画フォーラムを、さらに発展させていきたいと考えていますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。 追悼平和祈念館



# 「第26回 外国人と市民の集い」を開催

11月10日に追悼平和祈念館交流ラウンジで、国際交流部会主催の「第26回外国人と市民の集い」が開催されました。

この「外国人と市民の集い」は、長崎在住の外国人を招いて、母国の歴史、文化や生活についてスピーチしてもらい、来場者との意見交換を通じて国際交流を深めていくことを目的として国際交流部会が年1回開催しているもので、四半世紀以上も続いているイベントです。

集いには、中国、ベトナム、ネパール、スリランカからの外国人4人とクウェート育ちの日本人の計5人が、日本に対するイメージなどを含めてそれぞれの国について語りました。

会場には、約30人の来場があり、質疑応答ではさまざまな視点から質問がなされました。

質疑応答が終わった後は、会場を移して懇談会が行われ、連絡先を交換しあうなど一層の交流を深めていました。



各国の興味深いお話や、多くの質問がされました。

## 「外国人による日本語弁論大会」

が開催されました

11月17日に長崎外国語大学で「第4回」語り合おう「E-Nagasaki」外国人による日本語弁論大会」が開催されました。

この弁論大会には、当協会が実行委員会のメンバーとして企画、準備、運営に参画しています。

大会では、第一次審査を勝ち抜いた長崎在住の外国人（中国、韓国、インドネシア、タイ、ポーランド出身）13人が、平和や国際交流、外国人からみた日本などをテーマにスピーチを行いました。



出場者・審査員の皆さん

出場者の日本語能力もさることながらその内容も大変すばらしく、例年以上に高いレベルの発表となりました。厳正な審査の結果、次の方々各賞を受賞しました。

	氏名	国籍	スピーチタイトル	所属
最優秀賞	陸 珊瑚(リク・サンサン)	中国	平和への願い	長崎ウエスレヤン大学
第二位	智 光薫(チ・カンフン)	韓国	飲みニケーションで深まる国際交流	長崎総合科学大学
第三位	廖 家怡(リョウ・カイ)	中国	出会い	長崎外国語大学
未来賞	パンマイシー・ウィチュラダ	タイ	努力は嘘をつかない	聖和女子高等学校
審査委員賞	ホイノフスキ・ピオトル	ポーランド	錆とるケン	英語講師







## 被爆者健康講話のお知らせ

平成25年1月以降の講話予定をお知らせいたします。参加ご希望の方は追悼平和祈念館へご連絡ください。

- 第8回 1月17日(木)  
「糖尿病は甘くない!？」
- 第9回 2月21日(木)  
「病院における放射線の利用」
- 第10回 3月21日(木)  
「メタボを撃退して長生きしよう!」

場所：祈念館地下1階研究室（長崎会場）  
福江総合福祉保健センター（五島会場）

時間：15：00～16：00

お問合せ：追悼平和祈念館  
電話 (095) 814-0055

## 朝長万左男 副理事長が 長崎新聞文化章を受章

当協会の副理事長である朝長万左男先生が、平成24年度の長崎新聞文化章を受章されました。

朝長先生は、長崎大学医学部の卒業以来、現在の日赤長崎原爆病院院長にいたるまで、原爆放射線の人体影響の研究と被爆者医療に長年尽力されてきたことや、当協会副理事長をはじめ核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長、長崎如己の会理事長、長崎平和宣言文起草委員などを歴任して、被爆の継承と核兵器廃絶にむけて活動を重ねてこられました。

今回の受章を心からお喜びするとともに、朝長先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

## 賛助会員のご紹介

当協会の趣旨にご賛同いただいている賛助会員のうち、企業関係をご紹介します。ご支援・ご協力、誠にありがとうございます。

扇精工(株)、オリエンタルビル管理(株)、(株)親和銀行、(株)昭和堂、(有)事務機のタケダ、(株)十八銀行、日本通運(株)長崎支店、(株)藤木博英社、ホテルニュー長崎、九州労働金庫、丸美産業(株)、(有)ナカノコーポレーション、(株)インテックス、平和堂オフセット印刷(有)、(株)イシマル、(株)事務機のミカドヤ、(株)大和総業、(株)長崎消毒社、(株)NDKCOM、トップツアーズ(株)、長崎電気軌道(株)、(公社)長崎市シルバー人材センター、協和機電工業(株)、(一財)長崎市勤労者サービスセンター、太洋技研(株)、長崎ターミナルビル(株)、さかい酒舎、近畿日本ツーリスト(株)団体旅行事業本部カンパニー、チョーコー醤油(株)、大成サービス(株)長崎支店、(一財)九州電気保安協会、(株)大和屋、九州印刷(株)、九州教具(株)、(株)せがわ住機、(株)エビス堂、(有)クマさんのお花屋さん、日本紙工印刷(株)、日本空調サービス(株)九州支店、長崎ダイヤモンドスタッフ(株)、(株)一広、ジョンソンコントロールズ(株)、(株)理研サービス、(株)プロダクションナップ、ダスキレントオール長崎ステーション、オックス総合リース(有)、(株)日立ビルシステム九州支社 長崎営業所、長崎自動車(株) (順不同)

## 会員数報告

◎維持会員	1,105人
◎賛助会員	153人
◎学生会員	12人
平成24年12月4日現在	

## 寄付者紹介

ありがとうございます

◎妙心寺派花園会	三十万円
◎山脇 佳朗	十万円
◎神戸女学院高等学部	一万七千七百六十七円
◎佐々木 幸男	一万円
◎匿名	一万円
◎匿名	六千円
◎匿名	五千円
(敬称略)	

## 会費納入のお願い

当協会の活動は、みなさまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、郵便局でお支払いください。ますようお願いいたします。

本紙は再生紙を使用しています。

平成二十四年十二月二十六日発行  
印刷 株式会社 藤木博英社